

山びこ

YAMABIKO

2023
(令和5年)

1月号



東葛山の会

No. 542

1月・2月 予定表	1
新年あいさつ (安彦)	2
12月例会報告 (出席者・議事メモ)	3
11月山行実績&コメント	4～7
山行案内 (1月・2月・3月)	8～12
千葉県連 2022 事故防止・経験交流集会に参加して (岡田)	13～14
山行報告	
・ 奥多摩のテント泊と川苔山 (岡田)	15～16
・ 難台山 (なんだいさん) での失敗談 (井上順)	17
・ 成田山ウォーキング報告 (参加者コメント)	18～21
・ 忘年山行 伊豆大島三原山 (蓮見)	22～23
短歌 成田山のウォーキング (羽鳥)	24
忘年山行「伊豆大島の三原山」を振り返り (羽鳥)	25
思い出の山 (手塚・竜口)	26～27
ちょっと一言 (前田悟・清水)	28～29

表紙写真紹介

『憧れの槍ヶ岳』

北、南、中央アルプスという言葉を聞くだけで、雄大な山々が目に浮かびます。特に『槍ヶ岳』の登山をテレビで見ていると、最後にクサリやハシゴを使って登頂する。「こんな事をして登るんだあ～」と感動して涙がでました。

いつか私にも登れる日がくるのでしょうか？

～伊藤 弘子～

会報部からのお願い <表紙写真>

2月号は浅野瑞季さん、3月号は畠山良智さんです。

その際、100字程度の紹介文を添えて、前月20日までに、会報部(桐生)へ提出して下さるようお願いいたします。

予定表 2023年1月・2023年2月

日	曜日	1月	日	曜日	2月
1	日	元旦	1	水	山行部会 (18:00~20:00)
2	月	振替休日	2	木	
3	火		3	金	
4	水	山行部会 (18:00~20:00)	4	土	高麗山・八俣山・浅間山(雨天中止)
5	木		5	日	
6	金		6	月	
7	土		7	火	
8	日	例会 (14:00~16:00)	8	水	
9	月	成人の日	9	木	
10	火		10	金	
11	水		11	土	建国記念の日
12	木	衣張山 予備日1/13	12	日	例会 (14:00~16:00)
13	金		13	月	
14	土		14	火	
15	日		15	水	運営委員会
16	月		16	木	
17	火		17	金	沼津アルプス (一泊二日)
18	水	運営委員会	18	土	
19	木		19	日	
20	金		20	月	編集会議 (10:00~12:00)
21	土		21	火	
22	日	隅田川辺ウォーキング (中止)	22	水	
23	月	編集会議 (10:00~12:00)	23	木	天皇誕生日
24	火		24	金	
25	水		25	土	小倉山 (雨天中止)
26	木		26	日	
27	金		27	月	編集会議 (予備日)
28	土	県連 (房総ロングハイク)	28	火	
29	日				
30	月				
31	火				

※2023年3月山行予定

★ 3/6(月)~3/7(火) 玉原高原スノーシュー

★ 3/18(土) 南高尾山稜 予備日3/19(日) ★3/31(金) 六万騎山 (雨天中止)

※県連より

★1/21(土) 第30回雪山事故防止交流集会

★2/19(日) 続編 実技講習

あけましておめでとうございます！

会長 安彦秀夫

昨年 2022 年を振り返ってみると、東葛山の会は、3 月に『会創立 45 周年』を迎え、コロナ禍にも関わらず各部門でそれぞれ準備を進め、各種の『記念事業』を実施することができました。改めて会員の皆さんに御礼を申し上げます。

① 記念品配布

『東葛山の会のロゴ入り T シャツ』を 3 月例会（3/13）で配布

② 記念誌発行

『創立 45 周年記念誌：みちしるべ』を 4 月例会（4/11）で配布

③ 記念山行実施

4 月 9 日（土）『茨城県：吾国山・難台山・愛宕山』集中登山の実施
桜舞い散る山道を集合地を目指して、42 名が 4 コースから歩きました。

④ 永年活動会員表彰（在籍 25 年以上）

上記③愛宕山『見晴らしの丘』で 4 名の表彰（賞状と記念品の授与）

⑤ 記念式典開催

上記④を式典に振替え

8 月 11 日（木・山の日）には、田中陽希さんを迎えて『房総の山復興・山の日記念講演会』を千葉県内山岳 3 団体が共催して開催しました。

『日本 3 百名山ひと筆書き：グレートトラバース 3』での数々のエピソードをスライドとユーモアを交えての講演に、多くの参加者が酔いしれました。

恒例の温泉と雪上ハイクを目的とした『忘年山行』を、コロナ禍で 2 年間実施できませんでしたが、年末に、趣をガラリと変えて、『ミニ海外登山：伊豆大島三原山ハイキングと島内一周バス観光』として 29 名の参加で実施しました。

コロナ禍で、まだまだ思うように登山を楽しむことは難しいですが、感染対策を徹底して行いながら徐々に以前の状態に戻していきたい…と願っています。

まずは難易度の小さい山歩きをしながら、鈍った身体（落ちた体力）を徐々にアップ（回復）させ、今年の夏山を思う存分楽しめるようにしましょう！

無理は禁物です。

心と身体に余裕を持って、安全登山を心がけて山に向かいましょう！

山行計画書の作成・提出は、安全登山の第 1 歩！

今年こそ、コロナ禍に振り回されない会活動ができることを願っています。

例会報告

12月例会出席者 12/11 36名
安彦、松本、加藤、岡部、桐生、村上、八巻、小林、伏見、前田延、山岡、村田、入江、間瀬、鈴木か、五十嵐朝、四元、江崎、三橋、石塚、菊池、猪狩、羽鳥、井上勝、山脇、梅田、赤塚、菅谷、山口洋、菅原、井上順、清水、金子、笹、伊藤、野澤

12月例会議事 2022年12月11日(日) 司会 会報部 加藤

1, 11月山行報告

計14件(会山行3, 県連1, 個人10)、延参加者数; 86名、日帰り; 12件、テント泊; 1件、宿泊; 1件

- ・山行計画時バスダイヤの改正見落とし
- ・車内に鍵を残したままバックドアを閉めたらドアロックされ、JAFでも開けられなかった等の報告有り

2, 山行案内

「やまびこ」12月号掲載内容に対し変更無し

3, 各部報告

・事務局(四元)

2名入会 佐藤賢一さん(55才)、野沢直千さん(50才)

・会報部

12月号「やまびこ」発刊、今後も寄稿にご協力を

・山行部

1, 1月4日(水) 18:00~ 山行部会、4月会山行提案検討

2, 3月会山行決定

- 1) 玉原スノーシュー 3月6日~7日(宿の人数制限有り max17名)
- 2) 南高尾山稜 3月18日(予備日 19日)
- 3) 六万騎山 3月31日(予備日 4月7日)

予備日が4月山行と重なる可能性あり、担当者間で調整して欲しい

3, ミニ講習会 本日無し

4, 県連(羽鳥、安彦)

・ちばニュース配信済、カレンダー本日本配布

・12/22 石田先生の山筋ゴーゴー体操のオンライン講習に参加を(締切15日)

・1/21~22 雪崩事故防止講習会(当会から参加者無し)

・1/28 房総ロングハイク 参加者募集(特に新入会員にお勧め)

・2/19(日) 石田先生の実技講習会予定(船橋西部公民館)

・3/4 各会代表、理事、役員 of 合同会議 ONLINE形式で

・会員数県連に登録(11月30日付) 計53名(男21名、女32名)

・筑波山情報 指定されたハイキングコース以外は立ち入り厳禁

男体山、女体山山頂での飲食禁止、火気厳禁(御幸ヶ原の指定場所ではOK)

以上

2022年11月 山行実績 & コメント

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
1	川苔山(かわのりやま)	ハ	11/2 ~3	個	6	赤塚、蓮見、畑中、金子、柳、岡田
本誌 P 15~16 に掲載 (岡田)						
2	2022事故防止経験交流集会	他	11/5	県	3	安彦、羽鳥、岡田
本誌 P 13~14 に掲載 (羽鳥)						
3	霊山(りょうぜん)	ハ	11/6	会	26	加藤、岡部、桐生、小林、前田延、山岡、村田、江崎、三橋、高見、嶋本、菊池、井上勝、梅田、前田節、菅谷、山口洋、菅原、山口幸、前田悟、清水、畑中、柳、竜口、和田、五十嵐朝
本誌 12月号 に掲載						
4	北海道 恵山(えさん)・横津岳(よこつだけ)	ハ	11/6 ~7	個	1	井上順
本誌 12月号 に掲載						
5	南高尾山稜 (大洞山おおぼらやま)下見	ハ	11/10	個	4	松本、前田節、前田悟、金子
本誌 12月号 に掲載						
6	鼻曲山(はなまがりやま)	ハ	11/11	会	6	江崎、蓮見、嶋本、菊池、山口洋、菅原
本誌 12月号 に掲載						
7	滝子山(たきごやま)	ハ	11/17	個	3	赤塚、蓮見、金子
本誌 12月号 に掲載						
8	難台山(なんだいさん)	ハ	11/18	個	2	井上順、清水
本誌 P 17 に掲載 (井上順)						

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
9	三つ峠山(みつとうげさん)	ハ	11/19	個	4	菅谷、江崎、安田、嶋本 他1名
<p>参考タイム 船橋(5:41)—河口湖駅(9:13-9:50)—バス—三つ峠山登山口(10:10-10:30)…富士見荘(12:00～13:00)…ロープウェイ(15:40)—河口湖駅(16:30-16:51)—新宿—船橋(19:42)</p> <p>前々日ですでに「あずさ」、「かいじ」の特急券は完売。好天で暖かいが登山者も多いようである。三つ峠山山頂の真下にある富士見山荘迄、荷物を運ぶ4輪駆動車が登って行く広い道に行く。小屋の前の丘の上で昼食。富士山がまん前に座している。同行者のN氏が育てた野菜のスープをいただく。食後の安田さん謹製のコーヒーの香りが高い。毎度のことだが、このロケーションでいただくと周囲に申し訳ない。富士の右手を望むと、甲斐駒をはじめとする南アルプス、八ヶ岳連峰、奥秩父の峰がずらりと並び、その遠いところに雪を頂く峰が見える。ゆったりとした時間を過ごしていると、石段状をつながって登ることが馬鹿らしくなり、山頂をカットして下山にかかる。富士を眺めながら、長い府戸尾根を河口湖まで。葉を落とした冬木の中は、澄んだ空気に満ちている。3時間弱の洗浄で気持ちまで綺麗になった気がする。ロープウェイまで行くと、訪日外国人まで混ざった群衆に揉みグシャにされる。残念。(菅谷)</p>						
10	(箱根) 浅間山(せんげんやま) ・湯坂(ゆさか)路ウォーキング	ウ	11/19	個	5	山岡、山口洋、村田、山脇、前田節
<p>「紅葉を見に行こう」と箱根の浅間山～湯坂路を歩いた。千条の滝から山道になり浅間山へと向かう。紅葉を楽しみながらゆっくり1時間半ほど歩き浅間山に到着。大勢の人たちがランチタイム。目の前のススキの穂が風に揺れていてすてきだ。湯坂路は1200年前から歩かれていた道だそう。途中から石畳の道になり、滑らないよう気をつけて歩いた。カエデの木が両脇に植えられているが、旅人を楽しませるのは今も昔も同じ(?)。「ワアーすてき、いいね～」と、カエデの紅葉に感嘆をあげながらの楽しいウォーキングであった。(山岡)</p>						
11	丹沢 権現山～弘法山 ウォーキング	ウ	11/26	個	5	伏見、桐生、江崎、石塚、菅原
<p>会山行が荒天で中止となり、個人山行として小雨でも決行しようと出かけた。秦野駅から小雨の中出発。権現山ではキッチンカーが何台も準備していた。紅葉まつり?かな。雨も止み、青空も顔を出して気持ちよく歩きました。黄葉も見ごろでしたが、桜の大木が多く、桜咲く頃に又のんびりと歩きたいコースでした。久しぶりに、石ちゃんと歩けて良かったです。(桐生)</p>						

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
12	権現山(ごんげんやま)	ハ	11/27	個	2	安田、菅谷
<p>参考タイム 船橋(5:41)—上野原(7:45-8:50)—バス—初戸登山口(9:30-9:40)…雨降山(11:50-12:15)…権現山(12:50-13:20)…浅川峠(14:20)…浅川(14:45-16:19)—猿橋(15:00-15:33)—船橋(19:42)</p> <p>バスの時刻変更がうまく伝わらなかったため、上野原駅で待たされる。 ネット情報で満足せず、営業所等で確認した方が良さそうだ。(特に富士急は、と誰かが言っていた) 初戸の登山口付近は、伐採か工事の影響で分かりにくくなっているため、頻りに道標がある。 2時間ほどで雨降山に到着。 そこから主稜線を行くと権現山。 自転車を持ったり、乗ったりした人が出てくる。 頂上からは富士が大きい。 時間を考えて、扇山には回らないことにする。 到着した浅川登山口でもバス運行が分かりにくい。 それに気が付いたが後の祭り。 家に帰ると日本のサッカーが負け、相撲では本命と思われた高安が阿炎に負けていた。 今日は残念な日だ。(菅谷)</p>						
13	成田ウォーキング	ウ	11/28	会	16	入江、井上順、加藤、八巻、前田延、石塚、羽鳥、高見、山脇、山口洋、蓮見、菅原、山口幸、岡田、和田、安彦
本誌 P 18~21 掲載 (コメント)						
14	宝篋山(ほうきょうさん)	ハ	11/30	個	3	石塚、畑中、清水
<p>コース 登り 小田城コース 下り 極楽寺コース</p> <p>コロナ禍になり筑波山 宝篋山 小町山 は自家用車で行けるようになりました。 今回は石塚さんの車に便乗させていただき、清水さんとは現地待ち合わせ。 近いのと歩行時間も少ないのと、利根町役場に7時集合としたが、平日の通勤時間帯と重なり、道路は思ったより混んで9時の集合に間に合うか心配しました。 なんとか間に合い、どんよりした空模様の中歩き始めました。 頂上に近づくとポツリ。 石塚さんの足も回復途中なので、降って欲しくなかったが仕方ない。 頂上のすだれの囲いの場所で、立ち食いの昼食タイムを取っていたら、一人の身軽な男性が近づいてきた。 そこにはお皿がおいてあり、その方はボランティアで猫に餌を上げに来ているとのこと。 二匹の捨て猫がいて、一匹は人懐こくて捕まり里親さんに引き取られたそうだが、あとの一匹は警戒心が強くて捕まらないとのこと。 こんな山に猫を捨てに来る人がいるのには驚いてしまった。 濡れた地面を慎重に下るうちに雨も上がり、休憩所につく頃にはベンチも座れる状態になっていて、清水さんがバーナーでお湯を沸かして美味しいコーヒーをごちそうしてくださいました。 ビールの反省会がなくて寂しいけど、コーヒーの香りも贅沢だなーと。 石塚さんも、弘法山に続き今回の山行で三原山登山への自信がついたようで、少し安心しました。(畑中)</p>						

2022年12月 山行実績 & コメント ; 受領分

No	山名	ジャンル	月日	山行区分	人数	参加者
1	倉岳山(くらたけやま)・高畑山(たかはたやま)	個	12/1	ハ	4	蓮見、赤塚、山口、金子
<p>先月、大月市の滝子山に行った流れで、同じ大月市の倉岳山～高畑山を繋いで歩いた。梁川駅に8時半着。深い桂川溪谷を見下ろす橋を渡って、30分位歩くと倉岳山登山口に着く。少し行くと沢沿いの道が長く続き、初冬でも水の音が心地よい。立野峠まで登り、さらに尾根道を登っていくと、左前方にふんわりと雪を被った富士山が木々の間に見えはじめ気持ちが上がる。最後の急登を頑張って登ると、ようやく倉岳山に到着。広い山頂には、10組ほどが富士山を正面に見て休憩していた。反対の北側は、下方に大月市街、正面に扇山や百蔵山、遠くに見えるのは雲取山？ 私たちも山頂でゆっくり昼食をとり、天神峠、その先の高畑山を目指す。そのうちだんだんと雲が広がってきたが、雨の心配はなかった。狭い高畑山頂からは、少しだけ富士山を覗いた程度。北側の尾根を一時間ほど下り、その先はまた沢沿いの道になり、苔むした緑の岩が初冬に映える。鳥沢駅に着くと、ちょうど東京行の電車があり、スムーズに帰ってくる事が出来た。12月でも汗ばむ位に暖かく、想像したほど落ち葉が多くなって良かった。道標もしっかりついていたので道迷いはしなかった。(蓮見)</p>						
2	高尾山(たかおさん)	個	12/1	ハ	6	桐生、菊池、五十嵐、伊藤、小林、伏見
<p>土曜日でした。今年最後の紅葉がチラホラと彩っていました。人出も沢山で高尾山からと陣馬山からとの待ち時間があり、混雑してました。もっとびっくりしたのが白衣のウーバーイーツの宅配便に遭遇しました。片手にお寿司？ 黒のザックを背負い、陣馬山の方から駆けて来ました。誰が頼んだのか、いくらなのか気にかかりました。世の中変わりましたね。混雑を避けて「ヤゴ沢」を下り、小仏バス停から帰りました。(伏見)</p>						

山行案内

1月の山行予定

*衣張山 (きぬはりやま) 120m ゆるい山 (体☆) 改訂版

低山であるが、冬なので霜の道になっていることも考えられる。ストックを持参する。平成巡礼道と巡礼古道を歩きますが、全て山道です。

日時：1月12日(木) 雨天時13日(金) 集合：9時20分鎌倉駅

鎌倉駅改札口を出て案内板の前、トイレは改札口の外(改札口内にもある)

(往路) 新鎌ヶ谷 7:20—7:34 船橋—7:45 (快速逗子行き)—9:07 鎌倉

(復路) 鎌倉 15:16(成田空港行き)—16:35 船橋—16:43—16:51 新鎌ヶ谷

コース：鎌倉駅・鶴岡八幡宮・源頼朝の墓・北条義時の墓・杉本寺・平成巡礼道・衣張山・浅間山・ハイランド脇(昼食)・パノラマ台・大切岸・まんだら堂やぐら群・切通し・展望広場・巡礼古道・金剛窟・報国寺・鎌倉駅

歩程：コースタイム 5時間

山の特徴：展望よく鎌倉らしさを感じさせる山。

晴れていれば富士山や相模湾が美しく見える。

交通概算：3,000円

その他：昼食1食

- ・参加者確認書△と未記入の方で、参加できることになった方は1月4日までに山口に連絡ねがいます。
- ・報国寺で解散するので、他の寺院をまわったり、鎌倉グルメを楽しんだりすることも可能です。
- ・雨天延期の連絡 1月10日(火)

担当：(CL) 山口洋子 (SL) 井上勝代 菅原恵子

*隅田川 川辺のテラスウォーキング・・・・・・・・中止

日時：1月22日(日)

担当：(CL) 高見、(SL) 入江

2月の山行予定

* (大磯) ^{こまやま}高麗山167m~^{はっぴょうやま}八俣山151m~^{せんげんやま}浅間山181m ウォーキング

国内で初めての海水浴場が造られた大磯。その海岸を見下ろすように、浅間山の丘陵地帯が広がっている。海風を受けながらの縦走も楽しい。

日時：2月4日(土) 雨天中止

交通 集合 船橋駅 さざんかさっちゃん像前に7:30

(往路)：新鎌ヶ谷 7:14—船橋 7:27—7:38 (快速逗子行)—戸塚 8:48—8:54

(東海道本線・熱海行き) 一大磯 9:21

※船橋駅 前より 2~3 両目に乗車

※船橋駅でおトクな切符 (休日切符) を購入 (668 円お得)

(復路) 往路を戻る

コース: 大磯駅…化粧坂松並木…高来神社…高麗山…浅間山…湘南平…高田公園…大磯駅

歩行時間: 約 2 時間 30 分

寒さ対策: 防寒着や暖かい飲物を用意

交通費: 休日切符・・・2720 円 (自販機で購入)

担 当: (CL) 山岡、(SL) 加藤・八巻

*沼津アルプス縦走 標高 300m前後の山々 (☆☆・★)

標高は低いが起伏のある山稜を 2 日かけて歩きます。急坂、急登、急降下が連続します。やせ尾根もあり、ロープ・鎖などがあります。慎重に行動しましょう。

日程: 2月17日(金)~18日(土) 雨天中止

交通: 船橋 6:46 (快速逗子行) → 戸塚 7:55_8:05 (東海道本線 熱海行) → 熱海 9:14 _ 9:24 (富士行) → 沼津 9:42 沼津 → バス → 多比バス停

1 日目: 多比バス停・・・大平山・・・鷲津山・・・志下峠・・・公会堂前バス停
歩行距離 4 km 歩行時間 3 時間 (休憩含まず)

2 日目: 公会堂前バス停・・・志下峠・・・徳倉山・・・横山・・・香貫山・・・黒瀬・・・沼津駅

歩行距離 7 km 歩行時間 4 時間 30 分 (休憩含まず) 沼津駅にて解散

宿泊の宿 翠泉閣 宿泊費 11,000 円位

交通費 約 7,000 円 (ジパング利用 5,300 円位) バス代含む

担当者 (CL) 江崎、(SL) 梅田・桐生

*小倉山 標高 954.8M ゆるい山 (☆☆)

甲州市塩山にある山で、ザゼンソウの群生地があり、かつては水晶が取れた。

富士山の眺めも良い。ザゼンソウを鑑賞しながらゆっくり歩きます。

日時: 2月25日(土) 雨天中止

集 合: 塩山駅(9:00) 解散: 塩山駅

交 通: (往路) 船橋 (特急あずさ 3 号松本行) 6:53—塩山 8:53

タクシーにて玉宮ザゼンソウ公園入口 (約 6 千円)

コース: ザゼンソウ公園—小倉山分岐—小倉山—上条峠尾根道コース—上条峠—平沢集落—船宮神社—ザゼンソウ公園

歩行距離 4.5 千 m、歩行時間 3 時間 (休憩含まず)、標高差 360m

エスケープルート: 小倉山から来た道に戻る

概算費用: ジパング利用で約 5,500 円 (往復で購入)

タクシー往復約 4,500 円 (1 台)

昼食 1 食、状況によってはアイゼンが必要。

担 当: (CL) 柳、(SL) 猪狩・間瀬

3月の山行予定

*玉原高原 雪 スノーシュー (体☆ 危★)

玉原高原のペンションに一泊し、ブナ林や湿原を宿の主人のガイドで二日間スノーシューを履いて雪の湿原を歩きます。

日時： 3月6日(月)～7日(火)一泊二日 (鎌ヶ谷観光バス利用)

日程

(1日目) 歩行時間:約2時間30分

6:00 鎌ヶ谷市役所(福祉健康センター)出発—三郷南 IC—7:40～7:55 三芳 PA(トイレ休憩)—
9:25～9:40 赤城高原 SA(休憩)—沼田 IC—10:40 玉原スキーパーク—10:50 「つつみ・すくえあ」
チェックイン 昼食、準備
13:00～15:30 ペンションの周辺の林の中を足慣らしで歩く。
18:00 夕食

(2日目) 歩行時間:約3時間30分(昼食含む)

(朝食後) 9:00 出発—玉原湿原を周遊する(昼食)—13:30 ペンション—帰り仕度
—14:00 バス出発—14:30～15:30 望郷の湯—沼田 IC—16:00～16:15 上里 SA
—17:15～17:30 新倉 PA—三郷南 IC—18:45 鎌ヶ谷市役所

宿泊先 ペンション「つつみ・すくえあ」群馬県玉原高原
概算費用

・約23,000円(宿代、スノーシューレンタル代、バス代等)

募集人数ほか

- ・募集人数は宿のコロナ対応のため最大17人とします。
- ・全国旅行割が3月末まで延長の場合はバス代と宿は対象となります。

担当：(CL)・安田甚二、(SL)羽鳥健一郎・江崎昌子

*南高尾山稜 (☆☆ ★)

ほぼ樹林帯。アップダウンを繰り返し、約30分おきに登頂できる山が続くため、飽きる事無く歩けるが、天候の状態によっては凍っている可能性があるため軽アイゼンとスパッツが必要。

日程： 3月18日(土) 予備日19日(日) 雨天中止

集合： 相模湖駅改札外8:20(改札は一か所です)

トイレ(女性用：改札内・改札外に各3ヶ所ずつあり)

解散： 高尾山口駅

(往路) ①新鎌ヶ谷 5:41—船橋 5:53_6:05 (JR 船橋・三鷹行)—お茶の水 6:38_6:43(高尾行)—高尾 7:56_8:02 (甲府行)—相模湖 8:11 (片道 IC 1,717円)

②新鎌ヶ谷 5:53 (北総線)—東松戸 5:59_6:12(武蔵野線・府中本町行)—西国分寺 7:16_7:27 (高尾行)—高尾 7:56_8:02 (甲府行)—相模湖 8:11 (片道 IC 1,848円)

③新鎌ヶ谷 5:29—船橋 5:41_5:56(JR 船橋)—本八幡 6:04_6:13 (都営新宿線・橋本行)—調布 7:16_7:18 (京王線特急・八王子行)—北野 7:38_7:39 (京王高尾線・高尾

山口行) -高尾 7:49_8:02 (甲府行) -相模湖 8:11(片道 IC 1,299 円)
相模湖駅 神奈川中央交通バス 八王子駅北口行 8:39 発 -大垂水 8:55
(復路) 高尾山口 - 高尾 - 往路を戻す
高尾山口駅発 新宿行 15:08(特急) 15:15(ライナー-Mt. TAKA02 号) 15:17 15:28(特急)
コース : 大垂水バス停...大洞山...コンピラ山...中沢峠...中沢山...見晴台...西山広場...西山峠...
三沢峠...草戸山...四辻...高尾山口駅
歩行距離 : 約 9.1 km 登り (541m)、下り (744m) 歩行時間 : 約 6 時間 (休憩含む)
交通費概算 : 上記参照+バス 280 円
その他 : 昼食 : 1 天候により軽アイゼンとスパッツ
担当 : (CL) 金子、(SL) 松本・前田節子

***六万騎山 (ろくまんきやま) 321m ウォーキング (☆) (危険・なし)**

山頂からは上越国境の雪山が一望でき、カタクリ・イワウチワの花の群生があります。
日 時 : 3 月 31 日 (金) 雨天中止
集合・解散 : 越後湯沢駅新幹線改札口
往 路 : 新鎌ヶ谷 6 : 01 - 松戸 6 : 19_6 : 25 (快・上野行) - 上野 6 : 45_7 : 10 (とき 303 号) -
越後湯沢 8 : 13_9 : 02 五日町着 9 : 28
復 路 : 五日町 14 : 40 - 湯沢 15 : 07_16 : 01 (谷川 412 号) - 東京 17 : 28
13 : 23 - 湯沢 13 : 51_14 : 09 (とき 322 号) - 東京 15 : 28
コース : J R 五日町駅...30...麓登山口...1 : 30...下山...魚沼の里 (往復) 2 : 00
<魚沼の里> 公園のような広い空間におしゃれなお菓子、ワイン、日本酒、そば屋等がある
スポット
歩 程 : 標高差 300m コースタイム 約 4 時間
交通費概算 : 10,000 円 (ジパング利用)
昼食 : 1 食 登山口にコンビニあります
担 当 : (CL) 桐生、(SL) 八巻

県連関係予定行事

☆ 第 30 回関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」

2023 年 1 月 21 日 (土) 9 時~22 日 14 時

谷川岳天神平及び白毛門登山口 土合山の家周辺

☆ 2023 年 2 月 19 日 (日)

続編「実技講習会」開催予定

第37回 2023房総ロングハイキング開催案内

(JR東金駅 → JR土^と気^け駅) ハイキング委員会

2023年1月28日(土) 現地集合・現地解散

日帰り 雨天中止

集合: JR東金駅改札口出た所 午前8時10分

- ◆ コース: 首都圏自然歩道(関東ふれあいの道)千葉県No.8(東金駅~土気駅)
- ◆ 歩行: 6時間チョット(休憩含む)(下見では、時間がかかるロングでした)
- ◆ 参加者: 各会5~6名程度(各会で行動)(間隔開けて行動、マスク必携)
- ◆ 移動: 電車利用
- ◆ 費用: 交通費 約1,012円(千葉駅から往復)

<参考> 当日朝の電車時刻表

JR千葉駅7:33発(⑤番線ホーム、外房線 成東行き)⇒JR東金駅8:09着

<コース> (関東ふれあいの道)

徳川家康ゆかりの地 鷹狩場と東金御殿、御成り街道など作った所

東金駅8:15出発(集合状況によっては、若干時間変更あり)

⇒ 八鶴湖・最福寺 8:20

⇒ 日吉神社 9:00 (杉並木が綺麗)

⇒ コンビニ 9:35 (直角に曲がる。近くに八幡神社)

⇒ 雄蛇ヶ池 10:10 (公衆トイレあり)

⇒ 小西 正法寺 11:00 (葵の紋。たたずまいが良い。公衆トイレあり)

⇒ 越谷 11:50 (迷いやすい場所。シンプルに歩く予定)

<エスケープ>⇒大網駅(途中にコンビニ・飲食店あり。約40分で着く)

⇒ 縣^{あがた}神社 13:00 (余裕があれば お参りしたい)

⇒ 土気駅 14:20 (完歩おめでとうございます! 解散)

<帰りの電車> 土気発 千葉行き 14:45 15:04 15:34 15:44 16:04 16:26

問合せ・参加申込先: 県連担当・羽鳥(1月例会・1月8日)

千葉県連 2022 事故防止・経験交流集会に参加して

日 時 11月5日(土) 10時から16時20分

場 所 幕張勤労市民プラザ

参加者 安彦、羽鳥、岡田(記)

11月5日(土)に千葉県勤労者山岳連盟の事故防止・経験交流集会に参加してきました。

心地のよいハイキングですが自然相手の事なので様々な事故と隣り合わせなことも多いと思い参加させていただきました。

内容

〈2022年事故報告と事故件数サマリーから〉

- ・携帯電話の電波が通じない場所でLINEがかろうじて通じた。居場所としてYAMAPの緯度経度を何度何分何秒まで伝えていたので翌朝に救助がきた。
- ・健脚者でも疲れてなくても事故は発生する
- ・集中力や注意力が必要
- ・下山中に事故多発多発
- ・年代別では60才以上が多い
- ・転倒、滑落が多い
- ・67人に1件で山の事故は交通事故の4倍の確率
- ・女性に多い(千葉)、男女比率同じ(全国)
- ・事故発生割合0.76%(千葉)、1.57%(全国)
- ・今年は既に11件/千葉 コロナ前に数字戻る

〈八ヶ岳遭難死亡事故報告書から〉

- ・2022年1月16日～18日 八ヶ岳(硫黄岳～天狗岳)で起きた遭難死亡事故のケーススタディをしました。
- ・山行計画書未提出
- ・ツェルト不備
- ・コースタイムの不備
- ・リーダーの判断ミス
- ・コースタイムから遅れているにも関わらず見直しなし

やはり事故は氷山の一角だと思いました。山行計画書の提出を通して十分な準備と心構えとなる。まずは山行計画書をしっかり記入して提出することが事故防止になると思いました。

〈山筋ゴーゴー体操〉

ストレッチを通して身体の固さを実感しました。バランスを崩したり、イタタタ、、と固い身体を伸ばした時になりました。会場のあちこちで悶絶しているお顔や声がしていたので私だけでなかったのが唯一の救いになりました。

〈フリーディスカッション〉

- ・事故防止の取り組みについて他の山の会の方々とディスカッションをしました。
- ・各山の会によって色々なお話しが聞けました。

今までも安全に対しては慎重に意識していましたが今回の学びでより気が引き締まりました。

楽しきやいいじゃんみたいな事故には目を背けたがる方々も中には多いようですが、どうしようもない事故がある中で、氷山の一角で起こる事故の方が多く事故防止に努めるのと事故発生時の対応や救助要請などよく学んでいき気をつけていきたいと思いました。

貴重な講習会をありがとうございました。



奥多摩のテント泊と川苔山

日にち 11月2日(火)～3日(水)

参加者 赤塚、畑中、蓮見、金子、柳、岡田(記)

11月2日(火)から1泊でテント泊で奥多摩の氷川キャンプ場と川苔山へ行ってきました。

本来なら秋の紅葉で涸沢へ行く予定でしたが雨のため泣く泣く中止になり、テント泊の熱が冷めやらぬ奥多摩でテント泊となりました。

山小屋と違って自然と一体のテント泊をずっとしてみたかったけど重装備を背負うのは無理だしそもそも高価だし、雑誌読んでもなんだかわからず、テント、寝袋、マットをはじめたくさんの装備にチンプンカンプンでテント泊は私は出来ないものだと思っていました。

小学生の時にテント泊をしたことあったけど何もおぼえてはいなくて、そんなこんな小学生以来のテント泊でした。

持ち物からテントの張り方や何から何まで赤塚さんが指導してくださいました。なんと赤塚さんはテント泊を極めてらっしゃる“テント通”という一言にはおさまらないテントマスターなのでした。雪深い中でも吹雪の中でももちろん夏もいつでもテント！🏕️

というか旅館やホテルは物足りないとのアドベンチャー赤塚さん。例会では薄いピンクのシャツをサラリと羽織るお上品な紳士なお姿とはうらはらな赤塚さんにびっくりでした。

テント泊数日前から急に冷え込みが強くなり、念願のテント泊に不安がよぎりながらの当日でした。

テント張って、ごはん作って、メニューは肉野菜炒めと畑中さんが焼おにぎり用に作ってくれたおにぎりを焼きおにぎりにして、美味しくいただきました。夜は狭いテントに全員入って座談会も。修学旅行みたいな感じで楽しかったです。

心配していた寒さも極寒用のインナーとモコモコのフリースで寒さゼロで良かったです。

マットも寝袋も全く気にならず秒速で寝落ちして朝まで一瞬も起きずに眠れました。

山小屋もいいけど、テント泊だとより自然が近くで感じられていいなあ今回のテント泊で思いました。あとは背負う体力さえあれば、、🏕️

翌日は朝から川苔山へ行きました。川沿いのコースで紅葉がちょうど綺麗で素敵なハイキングコースでした。

テントに山に満喫でした。今回念願のテント泊で一生忘れられない山行になりました。

赤塚さん、ご一緒の皆さんありがとうございました。



難台山（なんだいさん）での失敗談

井上順之

11月18日(金)愛宕神社から難台山往復、同行者 清水さん

11月19日(土)愛宕神社 単独

小春日和の中、冬枯れの登山道をのんびりおしゃべりをしながら、久々に難台山に登った。この時期の難台山は初めて。山頂は周囲の木々が落葉し、展望が思いの外良く、「アレ・・・こんなに明るかったかな・・・」。このコース、急斜面が何箇所か有り、梅雨時は滑り易く神経を使うが、この時期は適度に踏み固められた落ち葉が滑り止めになる。「難台山は冬枯れの時期がいい」。そんな風にも感じた。

二日掛かりの難台山になるとは・・・

初日、14時過ぎに下山。駐車場に止めていた車のバックドアを明け、ザックを入れ、靴を履き替えてトイレへ。車に戻ってドアを開けようとしたが開かない。「おかしいナ・・・」。キーはザックに入れたままだったが、車内にキーが有る以上開くはずだが・・・。

仕方なくJAFを呼ぶ。30分程で到着。「開錠には時間が掛かります」とのサービスマンの言葉も、JAFに頼めば何とかなるという期待感が有り、別に気にしなかった。

1時間近く、鍵穴に何やら差し込みながら黙々と作業していたが開かない。電話で救援要請。二人目が到着。そして30分。開かない。更に3人目が到着。辺りは暗くなり、懐中電灯を照らしながらの鍵穴との戦いが続く。

5時過ぎ。周囲は真っ暗。「こりゃだめだ」と判断、付き合ってくれた清水さんに送ってもらう事にして「もう良いです」と言って作業を中断してもらった。「申し訳ございません」と言いながら3台のJAFの車は引き返していった。

その日は途中の駅まで清水さんに送ってもらい電車で帰宅。JAFが到着した時、清水さんに先に帰る様に話したが、「ドアが開くことを確認してから」と残っていてくれた。結果、清水さんの判断が正しかった。日が陰ると急に寒くなる。外に居られなくなり車内で暖をとらせてもらった。何とも有難かった。

翌朝、スペアキーを持って電車と徒歩で3時間掛け、再び愛宕神社の駐車場に。土曜日だったので、駐車場は既に満車に近かった。心配した「いたずら」は無く、安堵感を噛みしめながら遅い朝飯を食べた。

早速ネットで調べた。セキュリティ条件が厳しくなり、キーを車内に入れたままドアを閉めた時、条件によって開かなくなる車種が有るらしい。メーカーによって異なるので注意が必要。そしてJAFでも開けられない事がしばしば発生している事も知った。針金を差し込んで開けられた時代が懐かしい。

会山行 成田山ウォーキング報告 (参加者コメント) 井上順之

11月28日(月)薄曇りの中、10時「総門」前からボランティアガイドさんによる成田山境内の見学が始まりました。参加者16名が3班に分かれ、それぞれのガイドさんが、持前の得意分野に自らのキャラクターを生かした巧みな話術で我々を虜にし、2時間半があっという間に過ぎました。本堂での御護摩見学は初めての方が多く、また紅葉にはやや遅かったですが、紅系は頑張ってくれて居ました。解散後は再び紅葉を見学する人達、鰻や反省会目当てに参道に向う人達など様々。成田山の奥深さを学び、親交を深められた一日でした。



たくさんのコメントを頂きましたので、掲載させていただきます。



成田山ウォーキングありがとうございました。

ガイドさんの肩のこらない程度の説明を聞きながらの歩きは、見慣れた物も新鮮に見えて、じっくり見学できました。時間も長くなく丁度よく、錆びた頭の体操にもなりました。お参りのせいか、気持も、財布のひももゆるみ、ウナギの衝動食べ?と、買物で、残金は硬貨のみでした。楽しく美味しい時間でした。名所のガイド付き歩きは大賛成です。(加藤延子)



こんにちは 成田山ウォーキングお世話になりました。

成田山には何回か行っているのですが、説明付きだと解りやすく、「護摩炊き」も初めての経験でした。待っている間寒かったですが、お天気にも恵まれ紅葉も見られてよかったです。お世話になりました。(八巻)



成田山ウォーキングお疲れ様でした。

雨天中止にならず良かったです。ウォーキングのみならず成田山の説明付きの知的な山行楽しかったです。ただ歩くだけでも満足ですが、更にガイドさんもついて歴史的なお話しなども聞けて観光ハイキング大満足でした。

紅葉もキレイでした。近所に住んでますが成田山公園に行ったのははじめてでした。いいところでしたので近所なのでまた行きたいと思います。

下見など足を運んでいただきご担当の皆様ありがとうございました。安彦さんをはじめ一緒させていただくことが少なかった方とも一緒できて嬉しかったです。ありがとうございました。またよろしく願いいたします。

解散後に私は駿河屋さんという鰻屋さんに行きました。人生で食べた鰻で1番美味しかったです。駿河屋さんが美味しいと聞いたことがあってずっと行ってみたかったので念願の駿河屋さんでした。(岡田)



昨日はありがとうございました。

何回も行ったことのある成田山新勝寺ですが、知らない事ばかりでガイドさんの話しは大変勉強になりました。とても楽しかったです。又この様な企画があればいいなと思いました。幹事の皆様 ありがとうございました。(和田)



各建物の裏側に行ったことがなかったので新発見です。ガイド付は内容が濃く見学できて良かったです。5名に一人のガイドは、ゆったりと和やかに散歩できました。(石塚)



成田山ウォーキングお疲れ様でした。お当番さん、お世話になりありがとうございました。何回も行っている成田山ですが、ガイドさん付きは初めてでした。ただ見学するよりも、今まで知らなかった事を教えて頂き良くわかりました。総門の十二支とか寄付された有名人のはめ込んだ石とかです。また、ガイドさんが面白く、「それ以上聞かないで下さい」とか言われて・・・たまには、こんな山の会の行動も楽しかったです。(山脇)



三上龍昇氏のガイドは最高に楽しかったです。

重要な説明を笑いを誘いながらまじめに言うので、最初から最後まで笑いこけました。本堂は、初代光明堂300年前、2代目釈迦堂160年前、3代目が現在の大本堂50年前だそうで、現在の大本堂建立のために釈迦堂を移動させた時の作業写真を見せてもらいました。地面に板や丸太を敷いて、釈迦堂をそのままの姿で移動させていました。50人ぐらいの作業員が写っていました。この人力移動で2か月かかって、120m移動させたということでした。あと100年、200年たった時、今の大本堂は未来機器で移動させられることがあるのだろうか？

次に行く時は、12時に13回鳴らされる鐘楼のご〜んと太子堂のジャン ジャン ジャンの交互に響く音を鐘楼の前で体感したいと思います。

「ご〜ん ジャン ジャン ジャン ご〜ん ジャン ジャン ジャン」(山口洋)



参加の皆さまへ

成田山ウォーキングありがとうございました。

入江さん、井上さん、高見さん担当ご苦労様でした。

千葉県には色々な場所があることを再確認できたウォーキングでした。

縁あって千葉県に住んでいるのですから、もっと千葉県内を歩きたいものです。

山岡さん八巻さん高山さん入江さんをはじめ先輩たちがコツコツと続けてきた「ウォーキング」が、次第に形を作ってきたように感じた一日でした。

お陰様で十月に成田屋が襲名披露を兼ねてお練りをした参道を東葛山の会でお練りが出来ましたね！

解散後は男子2+3人は「近江屋」に入り、鰻で一杯の昼餉でした。久々に東葛山の会で昼酒をしました。たまに良いですね！お疲れ様でした。(羽鳥)



昨日28日(月)の『成田山新勝寺』及び『成田山公園』のガイド案内は、全体を通して思っていた以上に申し分のない魅力的な内容でした。もう少し時間をかけ、ゆっくりと回りたいですね。そのくらいに魅力があると感じました。

特に、成田山公園の適度なアップダウン、そして景観も素晴らしいですね。ウォーキングには最適ではないでしょうか？桜の木が多くありましたので、その時期に再訪したいのですが、人混みがすごいのでしょうかね。モミジなどの紅葉も素晴らしいですね。チョッと時季遅れだったような気もしますが、見ごろは素晴らしいでしょうね。

加えて、駅から総門までの道の両側に並ぶ店も、特に媚びることもなく良かったです。昼食に『うな重』を食べましたが、中身の割には高価ですかね。でも、思い出の一品にはなりました。

『御護摩祈願』は、初体験でした。良いものを体験できました。
企画そして下見など、用意周到に準備をしていただきました幹事の皆さんに感謝です。ありがとうございました。私は、昨年 2021 年春に、地元のボランティア団体『むらさきの里 野田ガイドの会』に入会しましたので、他の地域でのガイドの様子を体験してみたいと思っていたこともあり参加しました。
今回は、16 人に対してガイド 3 名というのは、客にとっては、贅沢ではないかな…と思いました。

ガイド内容は、ガイド個人個人によって変わります。
担当ガイドが得意とする分野であれば、すらすらと説明(案内)できると思うのですが、そうでない分野については、そこそこにならざるを得ないと思います。
何せ、プロではなくボランティアなのですから…。
また、客の中には、専門知識を持った方もおられますので、ガイドが、自信のない分野を資料を見ながら詳細を説明した場合、突っ込まれることもあり得ます。質問に応えられないケースも出てきます。その辺は、多めに見ていただければ…と思います。
勿論、疑問に思ったことは、どんどん質問していただいて結構ですが… (安彦)



写真提供者 岡田さん

2022 忘年山行 伊豆大島：三原山 758m

日 程 12月16日（金）～18日（日）

参加者 CL：安彦 SL：鈴木・岡田

加藤、桐生、八巻、小林、伏見、前田（延）、村田、間瀬、四元、五十嵐（朝）、五十嵐（幸）、江崎、石塚、嶋本、菊池、羽鳥、井上（勝）山脇、山口（洋）、菅原、山口（幸）、清水、畑中、笹、柳、蓮見：記

今年の忘年山行は、東海汽船の「三原山お鉢巡りハイキングツアー」に大島一周巡り観光をプラスした豪華企画をしていただきました。

16日（金） 22時 竹芝港を大型客船「さるびあ丸」に乗り出港。デッキからはスカイツリー、東京タワーやビル群のきらびやかな夜景。それが少し遠くなると工業地帯や横浜ベイブリッジの夜景と夜景尽くしでした。

17日（土） 6時に大島の岡田港に入港し、ツアーのバスに乗り大島温泉ホテルに到着。目前に三原山がドーンとそびえていました。朝食後、バスで三原山頂口へ移動し、ここでツアーの他の方々と別れて、東葛山の会のハイキングになりました。天気は午後3時頃から雨予報なので、火口一周をしてホテルに戻るルートになりました。

初めは舗装された道路ですが進んでいくと固まった溶岩がゴツゴツといろいろな形を作っています。表砂漠と呼ばれるところを過ぎ、所々噴気が上がっている山頂の巨大火口や赤茶色の火口壁が怖いくらいに見えます。島の方々はこの火山と共に生活しているのですね。1986年の噴火で島外に避難した時は、動物は置いていくしかなかったと、ホテルの方のお話でした。

午後2時頃ホテルに着く直前に雨がポツリポツリと落ちてきたので、傘を使わずに済みよかったです。

ホテルの受付で身分証明書を提示して「たがいま東京プラス」の1000円電子クーポンが出る説明書を各自受取り、何とかスマホに入れて売店で使うことができましたが、このようなものは簡単にはできませんね。



溶岩が作ったゴジラの横顔

18日(日) 朝から強風でしたが雨も上がり、大型観光バスでホテルから時計回りに島を一周する半日観光です。島の周囲は約52kmで車なら1時間ほどで回れるそうですが、見所がたくさんありました。特に、岸壁に囲まれた波浮港付近の散策や、600m以上も続く地層の大切断面が本当にバウムクーヘンに見えたこと。また、車窓からは道路沿いに咲く椿の赤い花が所々に見られ、大島観光に満喫した半日間でした。

帰りは来た時と同じ岡田港からですが、強風のため予定のジェット船が欠航となり、また「さるびあ丸」に乗ることになりました。乗船時間が長くなったおかげでまた6階デッキからの景色を楽しむことが出来ました。空が朱色に染まり美しいシルエットの富士山、反対側にはノギリの歯そっくりの鋸山、この両方は東京湾の真ん中からしか見ることが出来ませんね。

初めての伊豆大島をたくさんの仲間と楽しく歩き、めぐりました。担当の皆様、お世話になりました。



成田山のウォーキング 十首

羽鳥健一郎

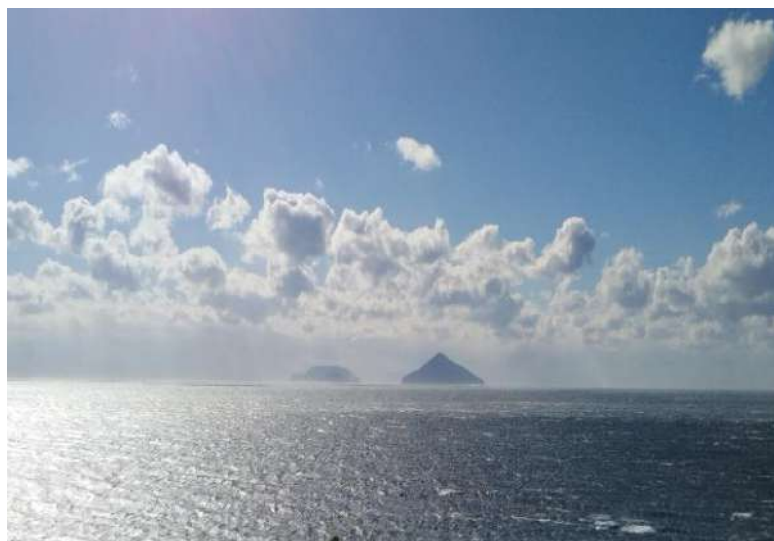
成田山風情溢れる参道や門前町の歴史を垣間見ゆ
成田屋が襲名披露でお練りせし参道歩み総門に着く
蒲焼の香り漂う参道を昼の心配しながら歩く
ボランティアガイドの話聞きながら巡る境内名残りの紅葉
成田山の節分会の舞台立つ明ければ我は六度目の干支
護摩焚きの儀式に列し本堂で背筋を伸ばし寒さに耐える
御朱印に不動明王と書く人の筆の穂先を暫し見詰めん
代々の大本堂は薬師堂、釈迦堂、光明道と名を変えて
梅、桜、秋は紅葉と庭園を飾る成田の新勝寺
参拝を終えて皆々昼餉行く男五人は鰻で一杯



忘年山行「伊豆大島の三原山」を振り返り

羽鳥健一郎

噴火後の名残の岩のここ彼処誰が付けしかゴジラ岩あり
目交いの噴火口から煙わく三原山の剣ヶ峰に立つ
島民は御神火と呼び敬いて火山の島で暮らしを繋ぐ
三原山の噴火せし頃島嶼部を鞆片手に出張せしが
波浮港栄えし頃の面影の残る家並みや石畳あり
人気無き波浮の港でコロッケを求めて並ぶ山の仲間ら
巨大なる地層の断面幾重にも続く大島噴火の歴史
白波が立つ海原に利島浮き新島三宅島も彼方に霞む
銅鑼の鳴り「蛍の光」流れたる、さるびあ丸は岡田港発つ
われ二十歳バンクーバーへと船出せし横浜港の記憶を手繰る



思い出の山

創立時の思い出

手塚 春雄

山の思い出を書いてほしいと言われ、最近はあまり行っていないので昔のことだったら書けるかもと言ったらそれを書いてほしいといわれ、創立時の事を書いてみようと思う。

創立は 1977 年、会員は創立者 3 人と創立総会時に来てくれた数人で発足した。

例会は月 2 回、今の図書館の前に建っていた市役所を借りて行っていた。

1 回目の創立山行は妻坂峠・武川岳に会員 5 名でカタクリの花を目当てに行ったがあまり咲いていなかった。

2 回目からは鎌ヶ谷広報を利用して参加者を集めた。毎月 1 回広報に載せて市民ハイクとして参加者も多くなってきた。

8 月には丹沢の水無川の堰堤キャンプを行った、この頃は参加者の年齢も若く子供は低学年が多かった。市民ハイクに行った人から会員になる人が段々多くなってきた。ハイキングだけでなく岩、沢、縦走と山行の多様化が出てきた。

会員は鎌ヶ谷だけでなく船橋、松戸、白井と近隣の地域の人が多くなり 3 年目に会の名前を今の東葛山の会に変更した。

1884 年、東京東部連盟に加盟していて松戸に住んでいる人たちで松戸に山岳会を作ろうと話が出ていた。この人たちから東葛山の会の私に話が聞きたいと連絡があり松戸で逢うことになりこの時に会ったのが当時全国連盟の理事をやっていた鈴木寛太さんで松戸の創立会員になっていた。このあと松戸と一緒に東葛山の会も 1985 年東京東部連盟に加盟、東部連盟ではこの当時、中級登山学校を作ろうとしていた。中級登山学校というのは谷川岳の岩場を登れるような人材を作ることだった。誰でも入れる訳はなく試験に合格しなければ資格がないということで入れなかった。三つ峠の岩場での試験があり、東葛山の会で私と畑さんが合格した。この学校の校長先生が谷川岳で亡くなった吉尾 弘さんでした。

この頃千葉県連から、千葉の山の会がどうして東京の連盟に入っているのかと連絡が入り、松戸山の会と共に 1986 年千葉勤労者連盟に加盟、今に至る。

昔は 3 人よれば山岳会と言われるほど小さな山岳会が続々出てきた時代でもあった。山岳事故も多く新聞にも事故の知らせが多く載っていた。このころは疲労凍死が多く、山に行くときは必ずツエルトを持って行くことを奨励していた。

以前、県連主催の房総のキャンプ場で道迷いの行方不明者がいて明日捜索に入るから参加してほしいと県連から連絡が入り、何人か連絡を取り、翌朝早朝に現地に行く。よく聞くと東葛山の会の一般募集した人でした。県連に入っていればこそ誰が遭難しても連絡があれば捜索に手弁当でかけつけてくれる。

これがどこにも所属していなければ単独か、あるいは現地の救助隊の助けを借りなくてはならない。お金もかかるし、時間もかかる。前に例会の時県連に払うお金の話があったが、もし事故があった場合の事も考えてほしい。

「思い出の山」

竜口まゆみ

私をはじめて登った山は無謀にも日本最高峰の富士山です。
1998年8月8日晴れ、夜中に叔父夫婦と娘の四人で車にて出発しました。
ルートは吉田ルートの四合目の駐車場から登りました。はじめはどんどん抜かされていくので負けるものかと意気込んで登ろうとしたら、叔父が「抜かされてもいい同じペースでゆっくりと、呼吸は2回吸って2回吐くのリズムで登れ」とアドバイスをしてくれたので、自分のペースで一步一步登り続けていくと、私たちを追い越して行った人達が体力を使い果たしたのか岩影で寝転んで疲れきっている姿を横目にひたすらマイペースで登って行きました。しかし八合目で娘と叔母が高山病になってリタイアしてしまいました。ここまで来て下山はしたくないと思い薄情な私は娘を叔母に預けて頂上にたどり着くことができました。

頂上の景色は最高に素晴らしかったのですが、富士山は登る山ではなく眺める山だと思いました。

これからは富士山を眺めながらたくさんの山に挑戦したいと思いますので宜しく願いいたします。



2月は安彦さん、和田弥生さん、3月は安田さん、野澤直千さんです。

前月の20日を目安に加藤までお願いします。

ちょっと一言

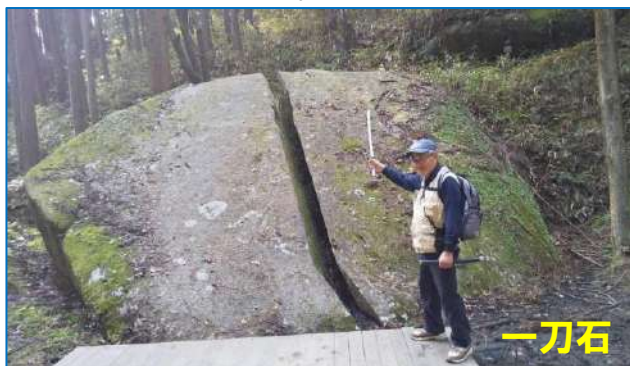
「柳生街道」

前田 悟

奈良の古道歩きを楽しんでいます。

昨年秋、柳生街道を京都南部の笠置駅から柳生の里を抜けて円城寺辺りまで歩きました。途中の天乃石立神社には、柳生石舟斎が切ったと伝えられる「一刀石」があり、折しも鬼滅の刃ブームの真っ最中、子供連れやコスプレ姿の若者たちでにぎわっていました。そばにプラスチックの刀がおいてあり、僕も剣豪を真似て刀を振り上げてみました。

今年はその続きで、春日山の原生林の中、奈良市内まで歩きました。荒木又右衛門が試し斬りで切ったと言う「首切り地蔵」と呼ばれるお地蔵様がありました。紅葉も見頃で、深まりゆく秋の中、昔の剣豪に想いを馳せながらのウォーキング。僕も剣が使えたなら、世の中の腐った一面を一刀両断にしたいものです。



ジャンク品・再生

清水利夫

最近、ネットオークションでブックシェルフ型の2ウェイスピーカーを見つけました。中古ですが格安の価格でしたのでよく見ると、片側の高音が出ないジャンク品とありました。ジャンク品の為、超格安で出品していました。捨て値なのでダメもとで購入して見るとツイータの配線が外れているだけで接続する

と非常に綺麗な音が再生されます。気をよくして今度は、昔欲しかったオンキョウのレシーバーアンプをジャンクで購入してテストしてみると異常は一か所、CDトレイの不具合だけで、トレイベルトを交換したらあっさりとなおってしまいました。最近は何でも壊れたと思うとすぐに買い替えてしまう事に馴れてしまい随分と無駄なことをしているような気がします。このコンポ、修理して直してみるとなかなか高音質のミニコンポで調べてみると、この製品今は販売されていない機種で9年前の商品でした。高音質の機種の為、人気機種で中古でもかなりの高価格で出回っているようです。修理してうまく再生した時はかなりの感動ものです。修理というと格好が良いのですが消耗品の交換だけです。その消耗品がダメになっただけで捨ててしまう事が多いようです。ダメもとで修理にトライして見るのも老人の暇つぶしにはもってこいですね。暇老人の独り言でした。



2月号の担当は畑中さんと金子さんです。

(1月20日を目途に柳 嗣穂宛て原稿をメールにて送付願います。)

(ヤナギ ツギホ norinatsu1130@gmail.com)

編集後記

退職後の10数年、畑を借り野菜を育ててきたが、地主の事情で畑をお返しした。

どこかに貸してくれる所はないか探したら、不動産屋さんが管理している畑があり10坪ほどを借りることになった。

2022年の春に夏野菜（トマト・ナス・キュウリ・ピーマン等）を植えたところ、けっこうな実がなりスーパーで野菜を買うことが減った。ナスは10月まで実をつけ「マーボーナス」や「天ぷら」にして食べ楽しんだ。また、ご近所にもお裾わけをして井戸端会議の仲間入りをし、おしゃべりをしたりした。（現役中はあいさつ程度しかできなかった）

秋は、小松菜・ホウレンソウの種をまき、玉ねぎの苗を植えた。今、芽が出てグングン生長しているところだ。

自分が育てた野菜は、無農薬で美味しいと自己満足している。（山岡）

この一年コロナが終息するのを期待していましたが、残念ながら治まらず、ワクチン接種も5回目になります。いつまで続くのでしょうか。

コロナの合間にお友達といろいろな所を歩きに行きました。

また念願の「軍艦島」の旅行にも行くことができました。

今年もいろいろな所を歩きに行けたらと思っています。

今年もよろしくお願いします。

八巻幸子

原稿作成要領

用紙設定 A4

余 白 上下左右 30mm

フォントサイズ MS明朝 12P

※原稿締め切り、毎月20日までにお願いします。

<担当>鈴木か、前田せ、山岡

手書きも大歓迎です。会報部員に渡して下さい。



発行日 令和5年1月1日

発行者 東葛山の会

会長 安彦 秀夫

編集者 梅田 尚志